

インファントウォーマ 一式

仕 様 書

沖縄県立北部病院

令和 5 年

1 仕様書概要

本仕様書は、沖縄県立北部病院における、インファントウォーマー一式の調達に関する内容および履行方法等の細則について定めることを目的とする。受託者は、本業務を実施するにあたっては法令等に定められたことのほか、本仕様書に定める事項を遵守しなければならないものとする。

2 調達物品名および数量

インファントウォーマー一式 ※構成及び仕様等は下記による。

(構成内訳及び数量)

品 名		数量
インファントウォーマー (A)		1 台
1	本体	1 台
2	蘇生装置	1 台
2	パワーパック i リチウムイオンバッテリータイプ	1 台
4	専用ベビースケール	1 台
5	引き出し	1 個
6	回転ボンベ架 F レール取付式	2 個
7	I V ポール F レール取付式	1 個
8	四連コンセント F レール取付式	1 個
9	減圧調整器 0X-235 酸素用	1 個
10	減圧調整器 0X-236 空気用	1 個
11	ヨックス S511A 1200ml/レール取付式	1 個

3 納 期 令和 6 年 3 月 31 日

4 設置場所 沖縄県立北部病院 ※担当者の指示する場所

5 寸 法 (本体) W840mm×D1100mm×H17900mm～21900mm 程度

重 量 105 kg 程度 (蘇生装置付) 112 kg 程度

6 性能、機能及び技術的要求要件

6-1 遠赤外線ヒーターによる児の保温ができること。

6-2 児の状態に合わせた温度管理が必要なため、マニュアルコントロール、サーボコントロール、いずれの制御方式でも使用できること。

6-3 パルスオキシメータが本体支柱に内蔵されていること。

6-4 CPR タイマおよびアプガータイマが本体支柱に内蔵されており、本体に内蔵されている LCD

ディスプレイで操作ができること。

- 6-5 操作パネルは、本体支柱部に内蔵されたタッチパネル式カラーLCD ディスプレイを採用していること。（ドット構成 800×480 ドット 表示色数：256 色 程度）
- 6-6 無段階調整機能の白色LEDが本体キャノピーに内蔵されていること。
- 6-7 児の蘇生時に必要な空気/酸素混合ブレンダーを本体支柱に内蔵していること。
- 6-8 酸素ブレンダーには本体支柱に内蔵されたマノメーターを有すること。
- 6-9 マノメーター付の吸引ユニットを本体支柱に内蔵していること。
- 6-10 ベビーガードにダンパーが内蔵されていること。
- 6-11 臥床台にX線カセットトレイが内蔵されていること。
- 6-12 吸引瓶等の別途販売品を本体支柱両脇に効率的に設置できること。
- 6-13 臥床台が大型で、無段階前後±13°の範囲で傾斜角度を調節できること。
- 6-14 警報項目として、設定温度警報、体温プローブ警報、ベビーチェック警報、システム警報、停電警報、SpO2 上限・下限警報、脈拍数上限・下限警報、SpO2 センサ警報、キャノピー傾斜警報を有していること。
- 6-15 警報時には、警報ランプの点灯に加えて、警報内容を本体支柱部のカラーLCDディスプレイに表示されること。
- 6-16 オプション品としてベビースケールの取付が可能で、ベビースケールは本体の操作パネルで操作、体重表示ができること。
- 6-17 引出しを有すること。
- 6-18 本体スタンド下部にバッテリーを搭載できること。

7 性能、機能以外の要件

搬入・設置条件及び調整等に関すること

- 7-1 物品は、新品であること。また、保証期間は納入後1年とする。この期間内において不可抗力、又は取り扱い不注意による以外で故障が生じた場合は、納入業者において無償修理その他の保証を行うものとする。
- 7-2 機器の搬入・据付及び調整については、本院の職員と協議のうえ、その指示に従うこと。また搬入、据付、調整等の際には近隣性を考慮に入れてほこり等には充分注意をすること。
- 7-3 本調達物品の設置に関し、機器の搬入、据付、配線、調整等は本調達に含むものとする。その際、本院の診療業務に支障をきたさないよう、本院担当者と協議の上行うこと。

8 サービス体制・保守体制に関すること

- 8-1 納品後1年間は無償で定期的に点検、調整を実施すること。
- 8-2 障害時における復旧のため通報を受けてから時間以内に現場で対応できる体制であること。

9 その他

- 9-1 調達機器は調達時点で製品化されていること。
- 9-2 操作マニュアル等は、日本語版で1部を提供すること。取扱いの説明に関する教育期間は本院と協議のうえ（日時、場所）実施すること。
- 9-3 本仕様書に記載されていない事項について疑義のある場合は本院と協議し、その指示に従うこと。